兵庫医科大学病院NEWS

vol.12

2010年7月発行

病院をもっと身近に　あなたとつながる情報誌

学校法人 兵庫医科大学 総務企画部 広報課　西宮市武庫川町 1-1　http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/　代表：0798-45-6111

理念
兵庫医科大学病院は、
安全で質の高い医療を行い、
地域医療へ貢献するとともに、
よき医療人を育成します。

基本方針
・人権を尊重し、患者の立場に立った医療の実践
・人間性豊かな、優れた医療人の育成
・高度で、先進的な医療や医学研究の推進
・健康増進活動による保健・福祉の推進
・地域の医療機関との円滑な連携

急性医療総合センター

～急性期医療を担う部門が集結～

兵庫医科大学病院
太城　力良 病院長

■急性医療総合センターの着工に向けて

学校法人兵庫医科大学は、ここ数年の間に神戸ポートアイランドの兵庫医療大学開学、ささやま医療センターのリニューアルオープンなどの整備拡充を行ってきましたが、西宮キャンパスにおいても、いよいよ本格的整備がスタートします。

西宮キャンパスは、昭和47年の開学以来40年近くが経過し、多くの建物の配管や空調などの老朽化が進んでいます。また、病院においては天井が低いため、最新の大型医療機器の設置が困難であることなど、今後の設備充実面でも問題が生じています。

そこで整備の第一歩として、10号館東側に7階建ての「急性医療総合センター」を建設することになりました。

センターには災害拠点病院としての役割を充実させ、地震や洪水などの災害時にも機能する救急救命センター、手術センター、集中治療センター、周産期センター、IVR(血管内手術)センターなどの急性期医療の中核をなす施設を包括し、高度な医療を展開できるようにします。

免震構造を有するこのセンター建設資金は、自己資金、寄付金等の他、一部を国からの医療施設耐震化臨時特例交付金を充当して建設します。平成23年3月着工、平成25年6月オープンに向け、現在詳細な設計を行っています。これまでの阪神・淡路大震災やJR福知山線脱線事故で学んだ大規模災害時における救急医療体制の在り方や経験を生かすことで、この「急性医療総合センター」が地域の皆様に一層貢献できると確信しています。

急性医療総合センター(予定図)

■救命救急センターの新医療センター移転への期待と展望

兵庫医科大学病院
小谷　穣治 救命救急センター長

当センターは阪神地区7市1町(184万人)の救急医療を担っており、年間約1,000例の3次救急疾患の緊急・集学的治療を行い、外来処置、他科振分け、電話相談、救急救命士への特定行為指示などを合わせると約2,500例を扱っています。救急及び集中治療専門医に加えて、外科、整形外科、消化器、循環器、脳外科、小児科など様々なスペシャリティーを持つ医師が専従し、学内全科の協力のもとに複数科にまたがる重症疾患の治療をしています。また、産婦人科・脳・呼吸器・心臓血管など外科系各科の緊急手術症例も当センターで全身状態を整えてから手術室へ送り、一般病室で管理できない内科系各科の症例も受け入れています。

新医療センターは重篤な救急疾患に対して、よりスムーズに対応できる設計を進めています。1階の初療室に6台の処置ベッドをおき、重篤な症例はその場で麻酔、手術を行えるようにします。熱傷専用の防水室、生物・化学・放射性物質汚染(事故・災害・テロ)用の洗浄室、心筋梗塞や出血などに対応する血管撮影室を設置し、西宮消防の救急隊員と救急車常駐についても協議しています。2階には熱傷専用ユニットを含む救急ICUと循環器CCU共同のベッドを設置する予定です。3階の外科・一般ICUとは直通階段でつなぎ、緊急時に互いにマンパワーを共有します。初療室、ICUともに上層階の手術室や周産期センターと専用エレベーターでつなぎ、短時間で患者搬送が出来るようにします。

新医療センターでは急性期疾患の初期治療に関連する部署を一つのビルに機能的に集約・配置しました。地域の皆様の救急疾患に今まで以上に速やかに対応してゆく所存です。どうぞよろしくお願い致します。

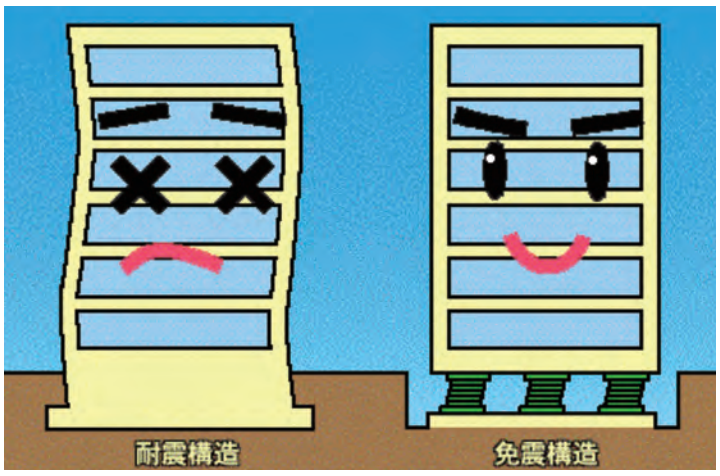
■急性医療総合センター手術部門

兵庫医科大学病院
上農　喜朗 中央手術部長

現在、兵庫医科大学病院中央手術部は、1号館4・5階の14手術室を中心に、年間約6,200症例の手術を行っています。このうち約90％は全身麻酔・区域麻酔などの麻酔科管理が必要な手術です。このように高い割合で麻酔科が管理する高度な手術を行っているのは、他の施設にない特徴です。今回計画中の急性医療総合センター手術部門では、10号館5階の一部と急性医療総合センター4階に、14手術室を設置する予定です。手術室数は現在と同じですが、それぞれ

の手術室に十分な広さを確保し、内視鏡手術室はもちろん、血管撮影装置を備えたハイブリッド手術室、ロボット手術装置などによる低侵襲にも対応できる手術室を確保するよう計画しています。また、整形外科や脳外科手術を行うクリーンルームも3室確保します。もちろん他の手術室も最新の設備により標準以上の清浄度を確保します。

　このような手術に直接関係する設備だけでなく、手術を円滑に準備し実施するために必要な機能として、病院電子カルテと最新の手術スケジューリングシステム、麻酔・看護記録システムを中心に、中央滅菌室と物流センターとも密接に連携し、手術器材・材料の滅菌・準備・使用に関する詳細な情報をもとに、効率的で安全な手術部運営を行う環境を整備します。今後は、従来と同じ手術室数で、より高度で低侵襲の手術がより多く実施できると期待しています。



耐震構造と免震構造

■急性医療総合センター　建物用途予定

1階・・・救命救急センター
　血管内手術センター
2階・・・救命救急センター
3階・・・集中治療センター
4階・・・手術センター
5階・・・アイセンター
6階・・・周産期センター
7階・・・設備室

よりよい病院作りをめざして

　兵庫医科大学病院は、平成17年12月に日本医療機能評価機構の基準（病院機能評価Ｖｅｒ．4.0）を達成している病院となりました。この認定有効期限は5年間となっており、この秋に認定期限を迎えることから、この度Ｖｅｒ．6.0を再受審します。

　第三者の立場の方々に病院の機能について体系的に客観的なチェックをしていただくことは、

1、病院の現状を客観的に把握することができる
2、医療の質と効果的なサービスの改善を行うきっかけにつながる
3、効果的で具体的な改善目標の設定が明確になる
4、指摘を受けた問題点について、関係部門だけでなく全職員が共通認識を持つことができ、改善意欲の向上につながる
5、審査結果報告書に、問題点を改善するための方向が示される

など、多くの準備時間とマンパワーを費やすに値すると考えます。

　何より、評価基準をクリアして認定医療機関となることは、医師、看護師をはじめとする病院職員と患者さんの信頼が一層向上します。

　また、病院の理念である「安全で質の高い医療」をおこない「地域医療へ貢献」するとともに「よき医療人を育成」していることを再認識できる機会でもあります。

　西宮キャンパスも大きく生まれ変わり始めるこの時期、患者さんにとっても、病院で働く職員にとっても、よりよい病院であり続けるため、皆さんのご協力をお願いします。

放射線科

診療内容・専門分野

　X線や放射性同位元素を用いた画像診断や放射線治療を専門に行う診療科です。最新の放射線機器（64／128列CT、3.0TMRIなど）による診断と治療を行っています。放射線科外来、入院病床を有しIVR治療や放射線治療を行っています。

■画像診断部門

(1) CT検査
　2009年の検査実績は約23，000件。現在3台（64／128列、16列、4列）の多列CT（MDCT）が稼働しています。64／128列CTの導入で高速で高分解能の撮影が可能となり、これにより作成された高画質の多方向断面像・3次元立体画像は診断能の向上に役立っています。

(2) MRI検査
　2009年の検査実績は約12，000件。現在、最新の3.0Tからルーチン用の1.0Tまでの4台のMRIが稼働しています。形態的な画像のみではなく、脳機能画像やMRスペクトロスコピーを用いた機能情報を得ることもできます。肝特異的造影剤を用いた肝がんの検査も機能的な検査の一種と言えます。

(3) X線検査
　消化管造影、腎盂尿管造影、マンモグラフィーなどの単純・造影X線検査の診断を行っています。

64/128列CT装置

■IVR部門

　IVRとは画像診断技術を応用した治療で、カテーテルなどを用いて行います。効果的で体にかかる負担の少ない、QOL（生活の質）の高い治療を行うことができます。2009年には約720件の治療を行っています。

(1) 肝がんに対する肝動脈化学塞栓術（TACE）
(2) 門脈圧亢進症（胃・食道静脈瘤、肝性脳症、難治性腹水）に対するカテーテル治療（BRTO、TIPSなど）
(3) 頭頚部がんなど悪性腫瘍に対する抗がん剤動脈注入療法
(4) 脳動脈瘤のコイル塞栓術、頸動脈ステント留置術
(5) 肺動静脈奇形や内臓動脈瘤、外傷性・産後出血などに対する血管塞栓術
(6) 血管狭窄に対する血管形成術などを行っています。
　子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術や脊椎圧迫骨折に対する経皮的椎体形成術などの新しい治療も積極的に行っています。

IVR治療（肝がんに対する肝動脈化学塞栓術）：X線テレビモニターを見ながら。廣田主任教授（左）と山本医師。

■放射線治療部門

　年間のべ約8，600件の放射線照射を行っています。消化器癌（食道癌、大腸癌など）、前立腺癌、頭頚部癌、乳癌、婦人科癌などの各種悪性腫瘍に対し、三次元治療計画装置を用いた精度の高い放射線治療を実施しています。2007年5月より早期肺癌に対する体幹部定位放射線治療、2009年12月より前立腺癌に対する強度変調放射線治療（IMRT）および画像誘導放射線治療（IGRT）も行なっております。また、泌尿器科と共同で前立腺癌に対する小線源治療も実施しています。

リニアック放射線治療装置

乳腺・内分泌外科

診療内容

乳腺・内分泌外科では、乳がんを中心に診療を行っています。乳がんは日本人女性のがんの中で最も多く、20人に1人が生涯のうちに乳がんになり、今後も増えると予想されています。仮に乳がんになっても、早期の段階で治療を行えば9割以上の乳がんを治すことができます。特にマンモグラフィー（乳房のレントゲン撮影）で石灰化しかない段階で見つかれば、100％近く乳がんを治すことが可能ですから、普段から検診を受けて早期に発見することが重要です。写真1のように石灰化は白い小さな点として見つかります。がんが原因でできることがありますから、がんが疑われるときはステレオガイド下のマンモトーム生検という検査を行ないます。当科にはこの装置があり、石灰化の精密検査が可能です。

乳がんの治療では、手術を行ないます。もしがんの存在する範囲が小さければ、温存手術と呼ばれる乳房を残す手術が可能です。しかし、乳房を残すことができない場合でも、筋肉やバックを使って乳房を作る手術（乳房再建術）を行なうことが可能です。当科では、形成外科と合同で再建手術を行なっており、乳がんの手術と再建の手術を同時に行っています。

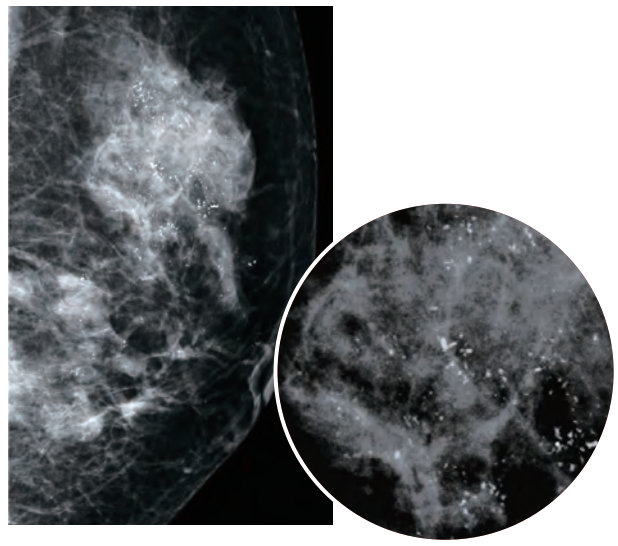


写真1　マンモグラフィーでみつかる石灰化（白い点の部分）

一方、早期の段階でなくても、手術のあとで抗がん剤やホルモン剤による療法を行なうことで、再発を減らすことができます。そこで抗がん剤治療を安全に、かつ少しでも快適に受けていただけるよう、外来化学療法室という専用の施設で治療を行っています（写真2）。

写真2　外来化学療法室

手術の後に抗がん剤が必要かどうか、遺伝子の発現を調べることでより正確に診断することができる場合もあります。また、乳がんには遺伝によって発症する家族性乳がんと呼ばれるものがあります。乳がんを発症した方と血縁関係にある女性の多くが、変異のある遺伝子をもっている可能性が高く、その遺伝子があるかどうかの遺伝子診断を当科で受けていただくこともできます。このように当科では、石灰化の診断、再建手術、遺伝子検査を含めた最先端の医療を受けることが可能です。

また、乳房の手術を行なうことによる精神的な負担や、抗がん剤治療による負担を軽くするため、医師だけでなく看護師や薬剤師を含めたチームでサポートを行なっています。それぞれの患者さんに最適な治療と、満足いただける医療を目指して診療を行なっています。

診療の実績

乳房の手術	106例
（内訳）乳がん	100例
乳房温存術	54例
乳房切除術	46例
乳房一期再建術	8例
センチネルリンパ節生検	78例
良性腫瘍	6例
甲状腺、副甲状腺の手術	12例
（内訳）甲状腺がん	1例
副甲状腺機能亢進症	10例
ステレオマンモトーム	68例
エコー下マンモトーム	23例
術前化学療法	15例
術後化学療法	19例
その他の化学療法	12例

内視鏡センター

診療内容

内視鏡センターは、内視鏡を用いた診断と治療を行う診療部門であり、消化器内科、肝胆膵内科、呼吸器内科、肝胆膵外科、上部消化管外科、下部消化管外科、呼吸器外科、放射線科、救命救急センターの協力を得て運営されています。上部消化管（食道・胃・十二指腸）、小腸、下部消化管（大腸）、胆膵、気管支、胸腔の内視鏡検査を、それぞれの専門分野の医師が担当しています。

当センターでは、拡大内視鏡、超音波内視鏡、画像強調内視鏡（ＮＢＩ）、カプセル内視鏡などの最新の内視鏡機器を積極的に取り入れ、常に精度の高い内視鏡診断と治療を提供できるように努力しております。年間の内視鏡検査件数は上部消化管約5,500件、下部消化管約3,500件、胆膵約300件、気管支約400件です。

また、技術の進歩に伴い、内視鏡を用いた幅広い治療が行えるようになってきています。実施している内視鏡治療は、消化管ポリープや早期癌の内視鏡的切除術、胃・食道静脈瘤の治療、消化管出血の止血術、消化管狭窄の拡張術・ステント留置術、経皮的胃瘻造設術、胆管結石の治療、胆管閉塞のドレナージ術、気管支ステント留置術、胸腔鏡による種々の処置などがあります。当センターでは、治療内視鏡が検査全体の約10％を占めています。消化管ポリープや早期癌の内視鏡的切除術は、食道・胃・大腸合わせて年間約500件を安全に実施しております。また、吐血や下血、閉塞性黄疸などの救急疾患に関しては、早急に対応できるように体制を整えています。

当センターでは、患者さんにとって不安や苦痛の少ない内視鏡検査を受けていただくため、ご希望される場合は上部消化管内視鏡検査では鎮静剤、下部消化管内視鏡検査ではおもに鎮痛剤を用いた内視鏡検査を行っています。患者さんの血圧、脈拍、血液の酸素飽和度などをモニターしながら、安全で楽な内視鏡検査を提供するように努めています。重篤な病気をお持ちで鎮静剤が使用できない患者さんなどには、鼻から挿入する経鼻内視鏡も行っています。

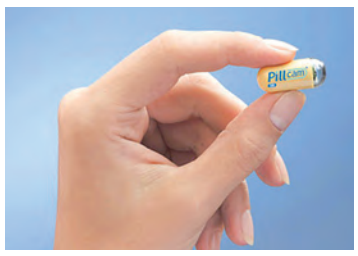
トピックス

1．鎮静剤・鎮痛剤を用いた苦痛の少ない内視鏡検査

2．小腸内視鏡検査

小腸は消化管の中央にある長い臓器で、従来の内視鏡では検査が困難なため、暗黒の臓器と呼ばれていました。しかし近年、小腸をたぐり寄せて縮めながら挿入するダブルバルーン小腸内視鏡と、小型カメラを内蔵したカプセル内視鏡が開発され、予想外に小腸にいろいろな病変がみられることが分かってきました。当センターにおいても、ダブルバルーン小腸内視鏡、小腸カプセル内視鏡を用いた診断や治療を行っております。

ダブルバルーン小腸内視鏡



カプセル内視鏡

3．内視鏡的粘膜下層剥離術

内視鏡治療処置具のめざましい進歩により、消化管の早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（Endoscopic Submucosal Dissection：ＥＳＤ）という新しい内視鏡治療が可能となりました。ＥＳＤとは、病変の周囲の粘膜を切開したのち、病変の下の粘膜下層を剥離して癌全体を内視鏡で切除する方法です。従来の手法では手術になっていたような範囲の広い早期癌を、安全かつ1つのブロックとして切除できる確実な内視鏡治療です。

当センターでは平成16年よりこの治療法を導入しており、現在では年間100例ほどの食道や胃などの早期癌の治療をこの方法で行っております。消化器内科医と外科医が連携しながら診断・治療にあたっており、合併症に対しても十分な対策のうえに行っています。

1．陥凹型早期胃癌

2．ESDによる癌の切除

3．切除後

より良い医療サービスの提供がすべてです。

兵庫医科大学病院、全国の医療機関の処方せんを受付けております。

お薬の事など、お気軽にご相談ください。
皆様のご利用をお待ちしております。

武庫川店
［営業時間］月～金 8:30～17:30　第1・3・5土曜 8:30～13:30
［定　休　日］第2・4土、日、祝日
〒663-8137 西宮市池開町3-20　MAY・MANAGEMENT,BLD 101
TEL.0798-44-3029　FAX.0798-44-3039

武庫川駅前店
［営業時間］月～金 8:30～17:30
［定　休　日］第2・4土、日、祝日
〒663-8131 兵庫県西宮市武庫川町2-19 P1ビル1-A
TEL.0798-42-3080　FAX.0798-42-3081

株式会社 **阪神調剤薬局**　http://www.hanshin-dp.co.jp

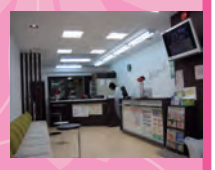
処方せん受付

NISHI PHARMACY

Nishi Pharmacy 西薬局 武庫川店

✲ 兵庫医大病院 の処方せん受付致します！！

患者様のお薬に対する、不安や疑問を解決して、お薬を安心して正しく服用して頂ける様、スタッフ一同 取り組んでおります。



お知らせ

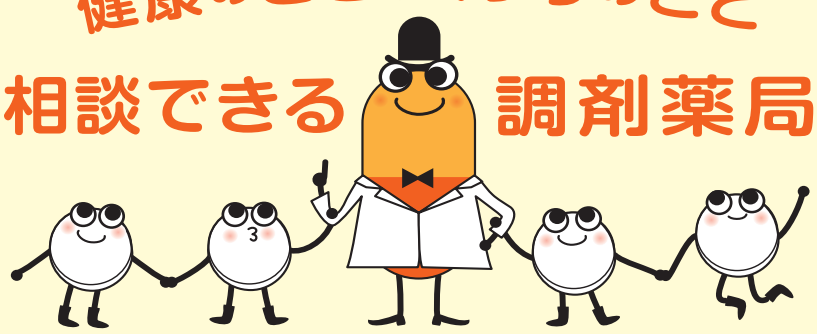
処方せんを、お受け取りになられた後、1号館1階院外処方せんFAXコーナーより、処方せん用紙をFAXして頂きますと、お薬をお渡しするまでの時間が短くなり、大変便利です。西薬局にて、無料のFAX送信カードをご用意致しております。
お気軽にお申し付けくださいませ。

西薬局 武庫川店
TEL：0798-43-3232
FAX：0798-43-3233
月 曜～金 曜　9:00～18:00
第1・3・5土曜　9:00～14:00
休日　第2・4土曜
日曜・祝日
薬局前に P アリ

✲ 阪神武庫川駅 西口すぐ！！

健康のこと、くすりのこと

相談できる 調剤薬局



どちらの処方せんでもお受けいたします

AISEI **あいせい薬局** 武庫川店
兵庫医科大学病院 受付棟 隣り
Tel：0798-44-3577

兵庫医大病院、全国の病院・医院の処方せん、お受けします。

FRONTIER
ワタキューグループ 全国137店舗
ワタキュー薬局 武庫川駅前店

月曜日～金曜日 9：00～18：00
第1・3・5土曜日 9：00～14：00
第2・4土曜日、日曜、祝日はお休みです。

TEL 0798-42-6702　〒663-8131 西宮市武庫川町2番19P-1ビル1階
FAX 0798-42-6703◀無料ファックスカードをご用意してお待ちしております。

あなたの健康サポートします。
笑顔で、ていねいに対応いたします。
各種クレジットカードもご利用いただけます。

P 阪神武庫川駅西側出口すぐ 駐車スペースあり

「くすりの話」

漢方薬だから副作用はないの？

漢方薬は、一般に、速効性がないかわりに効果がおだやかで安全性が高く副作用もないと思われがちです。しかし、漢方薬でもさまざまな副作用が起こります。

たとえば、麻黄（マオウ）を含むものでどうきや息切れ、甘草（カンゾウ）を含むものでむくみや筋力低下などが報告されています。また、小柴胡湯（しょうさいことう）は、慢性肝炎など肝臓病の治療に繁用されてきましたが、肝機能障害や間質性肺炎などの副作用が問題になりました。

漢方薬は安全だと勝手に思いこまず、いつもと違う症状が出たら医師や薬剤師に伝えてください。そして、飲み合わせの問題も起こることがあるため、何を飲んでいるかは医師にかならず伝えてください。

市民健康講座のお知らせ

開催日	テーマ	講演者
7月28日（水）	**肺がんの話**	内科 呼吸器・ＲＣＵ科　准教授 **福岡　和也**
8月18日（水）	**お口の健康は歯周病予防から**	歯科口腔外科　歯科衛生士 **木﨑　久美子**
9月15日（水）	**アトピー性皮膚炎のストレスをぶっとばせ！**	皮膚科　講師 **上田　英一郎**

開催場所・時間　10号館3階　第3会議室　15：00～16：30
申込み不要、参加費不要

お問い合わせ先　兵庫医科大学病院　地域医療・総合相談センター
電話番号：0798-45-6035（直通）

看護師・助産師募集

じぶんの色 きっと見つかる。

WE SET
SWEET

心地よい療養環境・ケアの提供を目指しています

SWEETとは、私たちが心に備えたいと願う５つの要素の頭文字。
看護部ではこのキャッチフレーズのもと一丸となって、チーム医療を支えています。

Sincerity　誠実（な行動）
Warm　あたたかい（対応）
Evidence　根拠ある（実践）
Ethics　倫理（的感性）
Technique　（確かな）技術

兵庫医科大学病院 人材対策室
フリーダイヤル 0120-456-199
〒663-8501　兵庫県西宮市武庫川町１番１号
TEL 0798-45-6543　FAX 0798-48-6261
看護師・助産師採用ホームページ
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/recruitment/nursing/

平成22年度　オープンキャンパス情報

兵庫医科大学

開催日：平成22年8月2日（月）
時　間：13：00～16：00
受　付：12：00～13：00　3号館4階　3-3講義室前
＊詳細はホームページをご覧ください。
http://www.hyo-med.ac.jp/admission/data/campus_excursion.html

兵庫医療大学

開催日：平成22年8月7日（土）、8日（日）、21日（土）、22日（日）
時間：いずれの開催日も13：00～17：00
＊詳細はホームページをご覧ください。
http://www.huhs.ac.jp/index.php/examinee/open-campus.html